

- [目次]
- 1 会長あいさつ
地域包括ケアシステム構築を見据えて … 高島 幹子
 - 2 第42回 秋田県看護学会
 - 3 シリーズ 施設自慢 No.2



- 4 シリーズ 輝いてる人 No.2
- 5 地区支部活動報告
- 7 平成27年度 表彰おめでとうございます・安全情報
- 8 役員の立候補並びに推薦について
- 9 理事会だより
- 8 訪問看護師養成講座
- 9 平成28年度 入会申込受付/お知らせ

平成27年度会員数 7,059名 (H27.9.30現在会員数)

保健師 261名 助産師 310名 看護師 6,271名 准看護師 217名



地域包括ケアシステム構築を 見据えて

公益社団法人 秋田県看護協会 会長

高島 幹子

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。会長として1期2年目の新年を迎え、気持ちも新たにしているところです。この新たな気持ちで新年の抱負をお伝えいたします。

一昨年6月18日に医療介護総合確保推進法が成立し、昨年10月より特定行為に係る看護師の研修制度、ナースセンターへの届け出制度、医療事故調査制度、病床機能報告が始まり、看護を取りまく環境は、目まぐるしいものがあります。

当協会では、昨年4月にナースセンターをアトリオン一階へ移転し、新たに運営を開始しており、届け出制度の努力義務開始を受けて、さらに登録者の層を厚くしているところです。ナースセンターは、移転先の立地条件が良いこともあり、来所者は倍増しております。最終的には、2025年問題を見据えて、一人でも多くの看護職員の再就業へとつながるように鋭意努力してまいります。

また、特定行為に係る看護師の研修制度では、受講できる指定研修機関は全国で14施設であり、残念ながら秋田にはありません。当協会では、研修制度全般についての詳細な情報提供をタイムリーに行い、難易度の高い診療の補助行為が、安全に行える支援を続けてまいります。

日本看護協会の、平成28年度の重点政策は、昨年度と同じく「地域包括ケアシステムの構築と推進」で、その重点事業としては、「看護がつなぐ地域包括ケアの推進」および「長期療養者を支える訪問看護等の強化対策」「地域における重症化予防対策」を挙げております。

少子高齢化が急速に進展する秋田県にあって、地域包括ケアシステムの構築は最優先課題であり、それぞれの地域に合ったオーダーメイドのシステムでなくては機能しないことは明らかな状況です。医療・介護サービスの提供の場は、急性期病院だけではなく、慢性期病院や介護施設、さらには、在宅医療へと拡大しております。

できる限り、住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受けつつ、安心して自分らしい生活を実現できることを目的とした地域包括ケアシステム構築に向けて、私たちは、それぞれの地域で、何ができるのかを主体的に考えて役割発揮したいと思います。

今年は申年です。猿も木から落ちるという諺もあります。しかし失敗を恐れずに、賢いサルにあやかっただけで知恵を結集し、新たな医療環境へパラダイムシフトできるように努めてまいりましょう。

平成27年度
第42回

秋田県看護学会

メインテーマ 支え つなぐ 看護の未来

日 時 平成27年10月20日(火) 10:00～15:30
場 所 秋田テルサ 1階ホール・ロビー
参加者 170人



筑波大学名誉教授
京都看護大学教授

紙屋 克子 氏



第42回秋田県看護学会、メインテーマ「支えつなぐ看護の未来」を平成27年10月20(火)秋田テルサ1階ホール・ロビーに於いて開催しました。平日の開催ではありませんでしたが、170名の参加がありました。

冒頭、会長の高島幹子の挨拶に始まり、特別講演では「最期までその人らしさを支えるケア」をテーマに筑波大学名誉教授・京都大学教授、紙屋克子氏からのご講演をいただきました。

次いで、臨床での身近な取り組みや気づき・改善などを研究した口演7題、示説5題の発表が行われたほか、傍聴者からも自施設での現状・工夫・今後の課題などの活発な意見交換が行われ、有意義なものであったと感じました。

今年で42回もの回数を重ねた当看護学会ですが、これからも多くの看護研究がなされ、よりよい看護の発展・学びの場となることを期待いたします。

(記:広報委員会)



施設自慢

■ 当院の紹介

湖東厚生病院 看護部長 佐々木 由美子

湖東厚生病院は平成26年5月に新築移転し、100床の入院病棟を再開しました。移転と共に理念を見直し『地域を支え、地域の皆様に愛される病院』を目指しています。

この地域は高齢者が4割を占める少子高齢地域であり、その地域性から「秋田県で一番高齢者にやさしい病院」をビジョンとしています。全世帯の3割が高齢者世帯であり、老々介護や1人暮らしの高齢者が多いため、病気が治っても自宅に帰れない方がいます。

一般の入院、外来機能の他、訪問診療・訪問看護による在宅療養の支援はもちろんの事、平成26年8月から開設した地域包括ケア病棟にて、地域の高齢者の在宅復帰支援を意識した、安心して退院できるための環境調整を図っています。この病棟では、在宅からの入院の受入の他、機能回復のためにリハビリ訓練が必要な方や身体介護や療養上の介助が必要なため、病気が安定しても退院先が決まらない方に対し、看護師が中心となり家族と共にその人に合った退院先を考え、在宅復帰のための支援に取り組んでいます。

新病院の環境は、明るく広々とし「居るだけで病気がなおる様な感じがする」と患者さんに好評です。建物は2階建てで、廊下、病室、トイレのスペースが広くとられ、車イス等の使用が便利になっています。また、ベッドと車椅子の交叉も容易で、リハビリ中の患者さんにとって安心して入院生活の中でも訓練できる環境になっています。



明るく広々とした院内です

デイルームは、全面ガラス張りで、差し込む日差しが心地よく、面会の方や入院患者さんの憩いの場所になっています。廊下の大きな窓から見える森山は四季折々を感じさせ、その佇まいは患者さんや家族だけでなく、私達職員の心も和ませてくれています。

この恵まれた環境の中で、その人らしい生活ができる場所を一緒に考え進めていく、看護師は患者さんの側に寄り添い、痛みを分かちあえるいたわりの心を持ち、できない時や失敗した時はやさしく手を添え、できるようになったときは共に喜び合う、真心を込めた看護を実践するため一丸となって取り組んでいます。



全面ガラス張りのデイルームです

輝いてる人

No.2

大館市立総合病院
産婦人科外来 助産師
野呂 幸恵



産 婦人科外来に勤務し3年、主に妊産婦支援を行っています。

当院は月5名に制限し年間60名だった里帰り分娩の受け入れを2年前に解除しました。その後希望者が倍増し、今年度は120名に達する見込みです。産科診療においてリスクとされる里帰り分娩ですが、親元で慣れ親しんだ環境で出産することは、妊婦さんや親御さんにとって何よりの安心のようで、地域のニーズを感じます。

一方、多くの女性が不妊症に悩んでいる事を実感します。避妊教育は受けても妊娠適齢期について教育を受ける機会がないことも影響しているそうです。当院はタイミング療法や人工授精・体外受精に力を入れており、不妊治療を専門とする他の医療機関から依頼される注射などにも対応しています。これからも赤ちゃんを望むご夫婦が正しい知識を持ち、適切な時期に適切な治療が受けられるよう心に寄り添っ

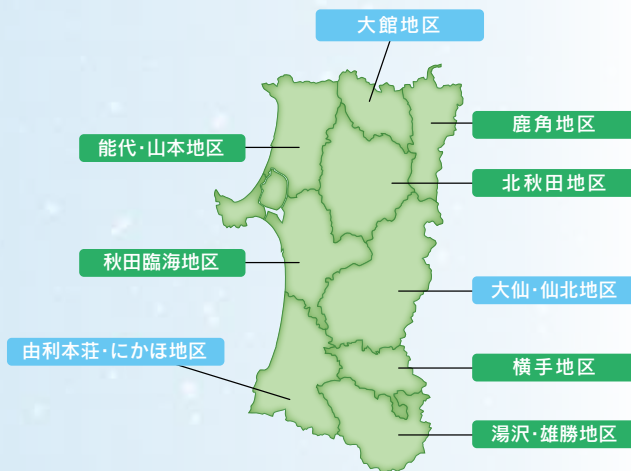
た支援をしていきたいと思っています。

また地域で助産師がこういった情報を発信する機会があればぜひ参加したいと思います。



産婦人科外来スタッフの皆様です

地区支部 活動報告



由利本荘・にかほ地区支部 地区支部

由利本荘・にかほ地区支部長 三浦 瑞枝

「交流会」

6月6日(土)「フレッシュヨガ」を開催して交流を図りました。土曜の午後、初夏の青空と新緑の木々を大きな窓から眺め、緩やかな音楽が流れる室内でヨガのポーズを取りゆっくり深く呼吸する・・・ほんのひと時でしたが、日常から解き放たれた感覚を得ることができました。参加者からは「肩こりが楽になった」との声も聞かれ、心身ともにリラックスできたことを実感しました。



「研修会」

9月9日(水)「災害看護」をテーマに開催しました。地区内の病院、介護施設から約40名の方に参加いただき、関心の高さを感じました。『自分たちができること』を思案し、災害は身近なものとして改めて感じる機会となりました。



「看護研究発表会」

11月4日(水)市内のホテルを会場に開催しました。寄せられた演題は6題で、いずれも身近なテーマに取り組んだ興味深い内容ばかりでした。なかなか活発な討議とはなりませんでしたが、70名を超える参加があり盛況に終えることができました。会場の雰囲気は発表者にとって適度な緊張感をもたらし、講評は次の研究への具体的なアドバイスとなることから、この研究発表会が一番身近な学びの場となるよう望みを新たにしました。





大仙・仙北 地区支部

大仙・仙北地区支部長 高橋 洋子

「ふれあい基金の贈呈」

今年度のふれあい基金の贈呈先は、社会福祉法人あけとおり会テnderランドリーファクトリーさんでした。8月28日に利用者さん約40名参加しての贈呈式を行いました。利用者さんが作業の合間や体調不良の際に使用するベッドやスクリーンを購入したようです。



「まちの保健室」

まちの保健室は、イオンモール大曲「花火の広場」で行いました。イオン会場は今年で4回目の開催でした。例年行っている、血圧測定、乳癌モデルを使つての指導、健康相談、フードモデルを使つての栄養相談に加え今年度は、手指消毒の指導も実施しました。

乳癌モデルは、赤ちゃんを連れた若いお母さんや、「乳癌モデルを触ってみたかった。こんな感じなのね」と好評でした。更に、見覚えのある女性グループが立ち寄ってくれました。私は「去年もいらっしやいましたよね？今日もバレーですか？」と聞くと「そうよ、去年もここで血圧を測ってもらったわ」と私達に近況を伝えてくれました。まさに『まちの保健室』でした。



大館 地区支部

大館地区支部長 田中 智恵子

「ふれあい看護体験」

7月23日、24日、28日の三日間、大館市内の高校生を対象に4施設において「ふれあい看護体験」を開催いたしました。例年より多い高校生54名の参加があり、看護師への関心が高まっていることを感じました。各施設において白衣に着替え、患者さんとふれあう場面から、たくさんのかを感じ取ってくれました。また、「赤ちゃんに触れて、かわいくてしょうがなかったです。一つの命を大切にしていくな看護師になりたい。」という、うれしい言葉も聞かれました。



今後も、看護の仕事に興味を持つきっかけになるような活動を継続していきたいと思います。



「まちの保健室」

9月13日、北部老人福祉総合エリアでの大館ボランティアフェスティバルにおいて「まちの保健室」を開催致しました。多くの地域住民の方々が利用してくださり、血圧測定・体脂肪測定・ちびっこナース撮影・健康相談のコーナーを設け、地域住民の健康へも意識付けのきっかけとなるよう取り組んでいます。今後も地域の方々のニーズを捉え活動に活かしていきたいと思っています。



功労者表彰おめでとうございます。

秋田県庁正庁にて、平成27年度環境・保健事業功労者知事表彰式が行われました。

平成27年度 環境・保健事業功労者表彰式



平成27年度 環境・保健事業 功労者知事表彰 受賞者 (順不同)

山口 貴美子	秋田緑ヶ丘訪問看護ステーション 看護師
越後谷 和美	秋田県厚生農業協同組合連合会 医療従事者確保対策室 次長 看護副部長
高橋 美紀子	大曲厚生医療センター 看護師長
佐藤 友子	雄勝中央病院 看護師長
伊藤 美枝子	雄勝中央病院 看護師長
阿部 比登美	雄勝中央病院 看護師長
佐々木 由美子	湖東厚生病院 看護部長

山田 富貴子	介護老人保健施設 遊心苑 副施設長
伊藤 富貴子	大曲厚生医療センター 看護部長
藤澤 広子	協和病院 看護部長
三浦 範子	秋田赤十字病院 看護師長
鈴木 美佳子	大曲厚生医療センター 看護副部長
柴田 博美	一般社団法人秋田県助産師会 横手湯沢地区勤務助産師部会長

安全情報 No.8

リスクマネージャー交流会



平成27年10月24日(土) ～明日からあなたの活動スイッチオン～をテーマに開催しました。
県内5施設5名の方々から自施設での、具体的な取り組みの実践報告をしていただき、活発な意見交換を行いました。

参加者が他施設での課題や取り組みを知ることで、抱えている問題を共有し、自部署で取り組める方向性を見出すことができました。今後は県内のネットワーク作りにつながっていかれたらと思います。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。



●市立秋田総合病院 須田由美子さん
●能代山本医師会病院 原田悦子さん
●市立横手病院 高本和子さん

●本荘第一病院 斉藤智子さん
●藤原記念病院 菅原延江さん
実践報告ありがとうございました。

平成
28年度

改選役員 及び 推薦委員

平成
29年度

日本看護協会代議員 及び 予備代議員

立候補 並びに 推薦 について

選挙管理委員会 からのお知らせ

平成28年6月22日(水)に開催される通常総会において、改選役員、推薦委員及び代議員等の選挙を実施いたしますので、立候補並びに受付期間などについてお知らせいたします(立候補には正会員5人以上の推薦が必要です)。

I 改選役員数と役職名等

1. 役員

理事 10名(任期2年)

会長、副会長、常務、会計、看護師職能、由利本荘・にかほ、大仙・仙北、横手、湯沢・雄勝、准看護師

監事 1名(任期4年)

2. 推薦委員 2名(任期2年)

3. 代議員 8名(任期1年)

4. 予備代議員 8名(任期1年)

II 立候補受付期間

平成27年12月21日(月)

～平成28年2月19日(金)(必着)

III 立候補届出用紙

本会ホームページからダウンロードしてご使用ください。

IV 立候補届出先

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6
公益社団法人 秋田県看護協会内
選挙管理委員会あて

推薦委員会 からのお知らせ

平成28年度改選役員、推薦委員及び平成29年度代議員等の候補者について、会員各位におかれましては、次の項目に該当する方を公募いたします。

1. 推薦基準

- (1) 秋田県看護協会の目的に沿って、組織の強化・発展の取り組みを実践できる人。
- (2) 秋田県看護協会事業に熱意を持って、共同できる人。
- (3) 本会の実情に合わせて、定例会に参加できる人。

2. 推薦方法

推薦用紙に記入し、郵送でお願いします。
(本会ホームページからダウンロードしてご使用ください。)

3. 受付期間

平成27年12月21日(月)

～平成28年2月5日(必着)

4. 改選役員数と役職名等

1. 役員

理事 10名(任期2年)

会長、副会長、常務、会計、看護師職能、由利本荘・にかほ、大仙・仙北、横手、湯沢・雄勝、准看護師

監事 1名(任期4年)

2. 推薦委員 2名(任期2年)

3. 代議員 8名(任期1年)

4. 予備代議員 8名(任期1年)

5. 推薦書届出先

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6
公益社団法人 秋田県看護協会内
推薦委員会あて

理事会 だより

第5回 理事会

日 時 ■ 平成27年9月18日(金)午後1時30分～午後4時57分

場 所 ■ 秋田県看護協会 第一研修室

出席者 ■ 理事16名、監事3名 欠席者: 理事3名

1. 議 事

- | | |
|--|----|
| 1) 平成28年度秋田県看護協会重点事項(案)について | 承認 |
| 2) 平成28年度予算編成方針(案)について | 承認 |
| 3) 平成28年度教育企画(案)について | 承認 |
| 4) 地区支部委員の変更について | 承認 |
| 5) 秋田県看護センター建設積立金について | 承認 |
| 6) 公益社団法人秋田県看護協会ハラスメント防止等規程の制定について | 承認 |
| 7) 公益社団法人秋田県看護協会経理規程並びに公益社団法人秋田県看護協会事務局規程の一部改正について | 承認 |
| 8) 平成27年度補正(修正)収支予算(案)について | 承認 |

2. 協議事項

- 1) 平成27年度秋田県看護行政懇談会への提示事項について
- 2) 特別委員会のあり方について

3. 報告事項

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1) 日本看護協会理事会報告 | 4) 助産実践能力強化支援事業について |
| 2) 事業報告 | 5) 日本看護協会への要望について |
| (1) 業務執行状況報告 | 6) 平成27年度環境・保健事業功労知事表彰者について |
| (2) 地区支部事業報告 | 7) 北海道・東北地区看護協会長連絡協議会について |
| (3) 庶務報告 | 8) 地区別法人委員会・職能委員長会について |
| 3) 会計報告 | 9) 平成27年度会員数について |

第6回 理事会

日 時 ■ 平成27年11月20日(金)午後1時30分～午後5時05分

場 所 ■ 秋田県看護協会 第一研修室

出席者 ■ 理事18名、監事2名 欠席者: 理事1名、監事1名

1. 議 事

- | | |
|--|----|
| 1) 平成28年度秋田県看護協会重点事項(案)について | 承認 |
| 2) 平成28年度秋田県看護協会事業計画(案)について | 承認 |
| 3) 平成28年度日本看護協会改選役員・推薦委員候補者の推薦について | 承認 |
| 4) 平成28年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について(案) | 承認 |
| 5) 特定個人情報取扱規程の制定について(案) | 承認 |
| 6) 平成27年度補正(修正)収支予算(案)について | 承認 |
| 7) 固定資産の除却について(案) | 承認 |
| 8) 訪問看護システムの更新について(案) | 承認 |
| 9) 訪問看護ステーションあきた運営規程、訪問看護ステーションおおだてハチ公
運営規程及び訪問看護ステーションおが運営規程の一部改正について(案) | 承認 |

2. 協議事項

- 1) 日本看護協会への要望について
- 2) 平成28年度秋田県看護協会改選対象役員について
- 3) 常任委員会及び特別委員会の見直しについて
- 4) 平成27年度秋田県看護行政懇談会への提示事項について

3. 報告事項

- | | |
|----------------------------|-------------------------------------|
| 1) 日本看護協会理事会報告 | 6) 平成27年度会員入会状況と平成26年度入会金未納者の状況について |
| 2) 日本看護協会地区別法人委員会・職能委員長会報告 | 7) 中間監査の報告 |
| 3) 事業報告 | 8) 新「会員情報管理体制」について |
| (1) 業務執行状況報告 | 9) 「会費及び入会金に関する調査」の結果・分析について |
| (2) 地区支部事業報告 | 10) 新型インフルエンザ等対策業務計画(平成27年8月)について |
| (3) 庶務報告 | |
| 4) 会計報告 | |
| 5) 地区支部委員の変更について | |

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ(<http://www.akita-kango.or.jp/>)をご覧ください。
ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。

訪問看護師養成講習会を終えて

1. 目的

- 1) 在宅ケアを必要とする人とその家族に対して質の高い看護を提供するために、地域の特性や生活状況をふまえ、最新の知識技術を習得する。
- 2) 在宅ケアチームの中での役割を認識し関係機関との連絡調整ができるような訪問看護従事者としての資質を育成する。

2. 実施内容

- 1) 開催期間・時間数:平成27年5月8日～8月31日(延べ29日間)・150時間
- 2) 科目:訪問看護概論12時間 訪問看護対象論12時間 訪問看護展開論12時間 在宅ケアシステム論12時間 訪問看護技術論75時間 実習30時間
- 3) 受講者数:18名、全日程修了者数:17名、公開講座の受講者総数:68名
- 4) 受講者の背景

(1) 地区別

項目	受講者数
県北地区	3名
中央地区	9名
県南地区	6名
合計	18名

(2) 所属施設別内訳

施設別	該当者数
訪問看護ステーション	5名
病院・センター	11名
クリニック・他	1名
未就業	1名
合計(人数)	18名

3. まとめ (修了者のアンケート結果から)

1) 講習会の受講動機、きっかけ(複数回答)

内容	人数
研修タイトル・内容に興味があり、学習したかった	12名
近隣で開催されるので受講しやすかった	1名
協会の教育計画冊子を見た	9名
上司・同僚からのすすめ	10名
その他	5名

※その他の内容

退院支援の際、地域連携の必要性を感じ、知識を習得したいと思っていた。
訪問看護に関わる予定があった。多職種連携、チーム医療について学びたいと思った。
退職後に受講しようと考えていた。

2) 講習会に関する期待(複数回答)

内容	人数
訪問看護の知識習得	17名
介護保険・ケアマネジメントの知識習得	8名
実習による他施設の理解	14名
他の職場の人との交流	9名
地域連携、退院調整・支援などに役立てる	5名

3) 目標の達成

内容	人数
達成できた	3名
だいたい達成できた	14名
ほとんど達成できなかった	0名

4) 今後の看護実践への活用

内容	人数
活用することができる	17名
活用することができない	0名
どちらともいえない	0名

5) この講習会を他者にすすめるかどうか

内容	人数
すすめる	17名
すすめない	0名
どちらともいえない	0名

4. 受講者の意見・感想(一部抜粋)

- ・訪問看護の基礎だけではなく、今までの看護の振り返りと、新たな学びができて良かった。本当に勉強になった講習会だった。
- ・研修を通して沢山の皆様との出会いがあり、楽しく学ぶことができた。ありがとうございました。
- ・看護学校以来の長期の研修で、はじめは負担も感じた。しかし、研修内容は講義、実習すべてが興味のある内容で、次第に楽しくなった。一緒に受講している仲間との会話も刺激になり、仕事での悩みの相談できる仲間ができた。実習先のステーションでは、今まで気がつかなかった様々な発見が刺激を受けた。
- ・訪問看護師に必要な現代の保健医療福祉の動向、役割、機能、特性を理解し、在宅ケアシステムの機能を学ぶ中で、自分が訪問看護師として何をすべきか、看護とは何かを再度考える機会となった。
- ・資料も分かりやすく、今後の振り返りに役立てていきたい。
- ・長期間の体調管理や、業務の両立は、正直大変でしたが、皆に経験してもらいたい研修であったと思う。病院で勤務する看護師は、比較的目の前の事象に捉われがちですが、「在宅をみる」ということが、看護する上で十分な支援の一つになると思う。考えさせられることがたくさんあった。講師の情熱に脱帽した。ありがとうございました。
- ・学ぶことの大切さや感動を与えてくださった講師の先生方、実習を受け入れてくださった施設スタッフ、利用者さんご家族の皆様に心から感謝申し上げます。
- ・訪問看護は「生活の場」を見て、その人にじっくり関わるため、やりがいのある仕事だと感じた。また、家族や多職種と連携し、目標に向かって進めていく姿勢は、とても重要であると学んだ。
- ・看護観についての振り返りができた。また、研修は仕事をする上での活力になった。
- ・講習内容が充実していて、知りたかったこと、知らなかったこと等、とても学びが大きい講習会だった。周囲の看護師にも進めたいと思った。

講習会終了日の
受講者の皆さん

事務局からのお知らせ

平成28年度入会申込受付中

新年度の入会(継続)の手続きはお済みですか?
平成28年9月末日まで受付しておりますので、
ご入会をお待ちしております。

秋田県看護協会
平成27年度会員数
7,059名



日本看護協会費	5,000円
秋田県看護協会費	6,000円
合 計	11,000円

保健師	261名
助産師	310名
看護師	6,271名
准看護師	217名

お問い合わせは

秋田県看護協会 総務部会員管理担当 ☎018-834-0172 まで



エーデル
EDEL

純
pure
日本製
japanese product

かたくなに、ひたむきに、誇りを持って
東洋羽毛は、精毛から縫製、仕上げの
すべての工程において国内自社工場の
「日本製」であることを守り続けます。



東洋羽毛北部販売株式会社 秋田営業所

〒010-0951 秋田市山王6丁目9-25山王SEビル5F

お気軽にお問い合わせください...
0120-639601

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
寒いが続いていますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。
この時期に流行するインフルエンザやノロウイルスなどの感染症に負けず、元気に過ごしたいものです。さて今年度、内容をリニューアルさせてスタートした「看護あきた」も残すところ1回となりました。
来年度に向け、さらに皆様が興味を持てる話題を提供していきたいと思っております。御意見・御感想をお待ちしております。

(記:藤田 直)

看護あきた Vol.122 平成27年度 3号

Nursing Akita



発行 日/平成28年1月13日
発行責任者/公益社団法人 秋田県看護協会 会長
発行 所/公益社団法人 秋田県看護協会 秋田市千秋久保田町6-6 Tel 018-834-0172
印刷 所/秋田中央印刷(株) 秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577